

令和6年度の 予定について

R6年度の事業の進め方（案）

● 今回の事業目的（市立中学校のこれからの部活動）

- ①子どもたちのための部活動（子どもたちが気軽に楽しく活動したい）
- ②教員の働き方や保護者等の関わり方を変える部活動（先生の多忙を解消したい）
- ③少子化による持続可能な部活動（部活動として継続したい）

学校部活動のあり方に向けて

- 実態調査を踏まえた**部活動の更なる適正化の検討**
- 国、県の動向や他都市の先進事例収集
- フォローアップ調査**実施と検証等

部活動指導の支援

- 部活動指導員の更なる活用**
- 大学や地域団体と連携した**指導者人材養成等の環境整備**を検討

休日の部活動の地域移行の検討

- 拠点校実践研究による検証**
…拠点校生徒、教員、保護者へのアンケート実施によるニーズ調査
- 関係団体等との協力可能性の検討

関係者の声をカタチにするために

○ 多様な主体による対話形式の意見交換を実施

- ・中学生、教員、保護者のほか、小学生、高校生、大学生、地域のスポーツ・文化 芸術団体などの多様な主体の参加
- ・既存の会議等を活用して、実施予定

○ 川崎市立中学校の部活動に係る懇談会における意見聴取

先生じゃなくてもできる部活動にするには？

保護者が協力できることってなんだろう？

地域力で実施可能な部活動は？

こどもが気軽に楽しくできる部活動は？



R6年度末に川崎市立中学校のこれからの部活動指針（案）の作成予定

※この（案）を基にR7年度に新たな部活動に関する取組を試行実施し、R8年度以降の事業に反映